

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成25年4月4日 (2013.4.4)

【公開番号】特開2010-227576(P2010-227576A)

【公開日】平成22年10月14日 (2010.10.14)

【年通号数】公開・登録公報2010-041

【出願番号】特願2010-71111(P2010-71111)

【国際特許分類】

A 6 1 B 17/34 (2006.01)

A 6 1 B 1/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 17/34

A 6 1 B 1/00 3 3 4 B

【手続補正書】

【提出日】平成25年2月18日 (2013.2.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

シール装置であって、該シール装置は、

中央軸を画定するシールハウジングであって、該シールハウジングは、内壁と外壁とを
含み、該内壁は、該中央軸に沿った開口部を画定する、シールハウジングと、

該シールハウジングに取り付けられた回転可能なヘッドと、

該回転可能なヘッドに旋回可能に取り付けられた少なくとも 1 つのフィンガと、

該回転可能なヘッドと該少なくとも 1 つのフィンガとに動作可能に結合されたカムであ
って、オペレータによる該回転可能なヘッドの直接的な係合および回転は、所定の寸法の
外科用器具を受容するように寸法を合わされたアパーチャを画定するように、該カムおよ
び該少なくとも 1 つのフィンガの回転を引き起こし、該少なくとも 1 つのフィンガは、該
外科用器具が該中央軸に対して軸から外れるように動かされ得る量を減少させるように構
成されている、カムと

を含む、シール装置。

【請求項 2】

前記外科用器具の周りを実質的に密封するための器具シールをさらに含む、請求項 1 に
記載のシール装置。

【請求項 3】

前記外科用器具のない場合、実質的なシールを提供するためのゼロ閉止シールをさらに
含む、請求項 1 に記載のシール装置。

【請求項 4】

前記シール装置は、3 つのフィンガを含む、請求項 1 に記載のシール装置。

【請求項 5】

前記回転可能なヘッドは、印を含み、該印は、該回転可能なヘッドを通して挿入され得
る器具の適切な寸法についてユーザへの指標を提供する、請求項 1 に記載のシール装置。

【請求項 6】

前記印は、前記回転可能なヘッドによって画定された窓を含み、該窓を通して数値マー
クが見られ得る、請求項 5 に記載のシール装置。

【請求項 7】

シール装置であって、該シール装置は、
シールハウジングと、
該シールハウジングの中に回転可能に配置されたカムと、
該カムに動作可能に結合されたヘッドと、
該シールハウジングの中に旋回可能に配置され、かつ、該カムと機械的連絡している少
なくとも 1 つのカムフィンガであって、該少なくとも 1 つのカムフィンガは、該シールハ
ウジングを通る第 1 の直径を有するアパーチャを画定する、少なくとも 1 つのカムフィン
ガと

を含み、

該カムは、該ヘッドと該少なくとも 1 つのカムフィンガとに動作可能に結合されており
、オペレータによる該ヘッドの回転は、該カムおよび該少なくとも 1 つのフィンガの回転
をもたらし、該少なくとも 1 つのフィンガは、該シールハウジングを通る第 2 の直径を維
持するように構成されており、該第 2 の直径は、予め選択された寸法の器具を受容する
ために該第 1 の直径とは異なっている、シール装置。

【請求項 8】

前記ヘッドは、前記アパーチャの直径に対応する印を含む、請求項 7 に記載のシール装
置。

【請求項 9】

前記カムは、前記シールハウジングの近位方向への動作のために構成されている、請求
項 7 に記載のシール装置。

【請求項 10】

少なくとも 1 つのシール部材は、前記シール装置に関連付けられている、請求項 7 に記
載のシール装置。